

がこぼれた。(岡田美苗子/Olive 編集部)★ヴィンセント・ギャロを愛してる!だってあんな握手をする男ってそういない。どんなかって、それは内緒。「バッファロー」を観たらわかるよ、きっと。(武田和子/SPUR)★DIE好き!この作品の真の主役はブリーフ丁の聖人「グリーン」だ!(奥山貴宏/モノ・マガジン エディター)★ロック・絵画・役者、あふれ出る才能をであましていたヴィンセント・ギャロが創りあげた、グランジ世代最後の、最高のエンターテインメント。(林文浩/DUNE編集長)★愛しのレイラ、I've gotta on my knees!(ウェイン町山/『映画秘宝』編集参謀)★乾いた映像と優しいストーリー…、ギャロの〈ひとりよがり〉はさえまくっている。(三ヶ尻智昭/Barfout編集部)★今、真に語られるべき女優はG.バルトロウではなくC.リッチだ!!(月刊少年マガジン映画班)★あれだけカッコつけてたら嫌われるはずなのに…悔しい(僕も含めて)。(馬場敏裕/タワーレコード渋谷 サウンドトラック)★キング・クリムゾン、イエス、大好きなプログレオタクの監督が制作した映画を当店が応援しないわけにはいきません。(マダム藤原/新宿レコード)★ヴィンセント・ギャロさんのことはアンティークオーディオの世界ではよく知っておりましたが、まさか映画監督さんとは驚きました。(宮岡一郎/ウエスタンラボ代表取締役役…所沢の世界の名器オーディオ直輸入店)★ギャロの眼がスルドく、冷たい肌触りの映像。でも「実はおおらかなんだな」と気付いた時、ボクの心は豊かになった。(けんもち聡/映画監督)★悪い冗談と、暴力的な純愛と、クソったな家族。人生に必要な、空回りする三つの情景を、この映画は持っている。(橘川有彌/作家)★胸にしみた。(伊勢谷友介/学生・モデル・役者)★孤獨なナルシストに、迂闊にも魅了されてしまった…。人は誰でも愛し、愛されたいのだ!(雅子/モデル)★ブリリエンツ!!!ギャロを殺して私も死ぬ!!そしてあのラスト3分、こんなにも私を幸せにした映画があったらうか。(津田真美江/モデル)★Galloがキリストなら、Christina Ricciはマリアさま。二人のピュアなハートが映像や音楽を通してとってもおしゃれに描かれていました!(はな/モデル)

7月3日(土)、ついに公開!!

シネグイント

渋谷バルコ パート3・8F
03-3477-5905

7/3(土)~7/15(木)
11:30/14:00/16:30/19:00/21:15
7/16(金)~
11:30/14:00/16:30/19:00

★カップル割引ー赤いブーツと銀の靴のカップルでご来場のお客様は、お一人様1000円でご覧いただけます。

大阪 8月7日(土)よりロードショー
11:45/2:10/4:35/7:00
心斎橋アメリカ村 BIG STEP 4F
06(6282)1460

Check It Now!!

- 「バッファロー'66」フォトストーリーブック:B.R.サーカスより発売
- 「ヴィンセント・ギャロ」アーティストブック:ブチグラバプリッシングより発売
- サウンドトラック:メルダックより発売中
- オリジナルTシャツ:トランス コンチネンツより発売中

バッファロー'66 音と画の出る真空パック前売券

■共通特別鑑賞券

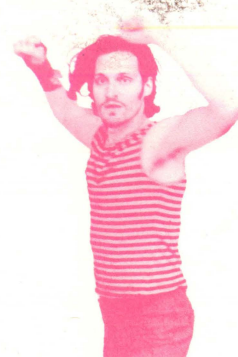
■CD-ROM [予告編Director's cut,写真集,and more!] ¥2,300(税込)

公開劇場窓口・渋谷バルコ パート1/1Fインフォメーション・各レコード店他にて発売中!

限定1,500枚 残りわずか!!

お問い合わせ:キネティック 03-5575-6735

配給:キネティック 提供:カルチュア・パブリッシャーズ キネティック テレビ東京
協賛:トランス コンチネンツ 1998年/アメリカ映画/1時間53分/カラー/ヴィスタサイズ/ドルビーSR
<http://www.kinetique.co.jp/>



a love story*

観るたびに愛しく、思い返すたびにおかしいビリーとレイラの伝説。

クレイジーで、キュートで、ファンキーなラブストーリー。本年度No.1ムービーと既に決定する人多数!

a film by VINCENT GALLO VINCENT GALLO CHRISTINA RICCI
BEN GAZZARA MICKEY ROURKE ROSANNA ARQUETTE JAN-MICHAEL VINCENT and ANJELICA HUSTON copyright Lions Gate Films 1998

Buffalo '66



保存版★66人のコメント集

監督・脚本・主演・音楽:ヴィンセント・ギャロ

最悪の俺に、とびっきりの天使がやってきた



BEN GAZZARA



MICKEY ROURKE



ROSANNA ARQUETTE



JAN-MICHAEL VINCENT



ANJELICA HUSTON



祝!『バッファロー'66』日本公開

ヴィンセント・ギャロの虜になってしまった**66**人の熱き暑き本音(順不同)

★あまりにも私的すぎる映画でありながらこれほどまでに魂の解放を映像にたたきつけたギャロよ!! …スゴスギル!(竹中直人/映画監督・俳優)★とにかく、とてもおもしろい!個人的にはタイタニックの100倍位おもしろい(ま、おもしろ視点は違うけど)。ヴィンセント・ギャロってのはホントにスゲー人だ。観てる間中、ズット「おースゲー」「おーカッコイイ音」「おークールな色」「おー」「おー」と心の中で叫んでました。僕は、この映画を観て、ヒジョーにイイ感じになった。皆も観ればイイ感じになるので、観てくれ!と最近周りの人には話してるワケだ。とにかく観るべし!!(石井克人/『鮫肌男と桃尻女』監督)

★おしっこしたいのをガマンしてでも見てほしい。(浅野忠信/アナーキスト)★LOVE♥Vincent Gallo(小島聖/女優)

★あまりにステキなキング・クリムゾンとイエスの使われ方に、プログレ・ファンは思わず号泣であろう。(大槻ケンヂ/ミュージシャン)★主人公のダメっぷりはすごい。終わり方、好きです。(YO-KING/真心ブラザーズ)★VINCENTという男の名は皆カッコイイ。BILLYという名の男は皆イカしてる。COOLでPOPでSHYな映画Buffalo'66!!(川村かおり/ミュージシャン)

★作者のテーマと感覚…すべてにおいて、そのはまりの良さにはまった。(高木完/ミュージシャン)★スキだらけて弱くても可愛ければいいんだ!不器用でも面白ければいいんだ!本当に彼らは笑っちゃうくらい情けないけど、人生を遊ぶセンスを持っている。(エミ・エレオノーラ/デミセミクーパー・ヴォーカル)★予告編に踊らされたサブカルモンキーを見事に裏切る“地味いいラブストーリー”ですな。(マギー/ジョビジョバ リーダー)★「エアールフ」「ジャン=マイケル・ヴィンセント」「アル中」これらにピンときたら絶対観ろ!(石倉力/ジョビジョバ)★なんかリアルでドキドキするぞバッファロー。なんかネアカでワクワクするぞバッファロー。好きだぜバッファロー。(木下明水/ジョビジョバ)★ヴィンセント・ギャロの偉大なるナルシストぶりにコーファンし、クリスティーナ・リッチの豊満なる太ももに魅了された。(坂田聡/ジョビジョバ)★かなりグッときた。(長谷川朝晴/ジョビジョバ)★ビリーの情けなさにはホント、嬉しくて涙出たヨ。アンタホント、やらねえけど、やる男だったよ。(六角慎司/ジョビジョバ)★古い…いい方ですが みんな…すごく…ださかわいくて幸福になれました。(中野裕通/ファッションデザイナー)★ウォーホールやバスビアとその昔、バンドを組んでたヤツが映画つくったらしいよ。それがヴィンセント・ギャロとの出逢いでした。彼のフィルターを通して見ている世の中の表現がとてもぶっこんで不思議。(扇子大介/トランス コンチネンツ デザイナー)★ビリーとレイラの繊細でキュートなKissは近年でn°1のラヴシーンだ!(田村貴之/n°44店長)

★繊細でクールなギャロ。キュートでコケティッシュなリッチ。僕はこの映画に頭を打ちぬかれた。最高にイカす映画。(竹中祐司/n°44)★I LOVE VINCENT GALLO! AND I LOVE BUFFALO'66!ヴィンセント・ギャロと彼の世界にハマってます。メチャメチャハマってます。(キャロル久末/DJ、コメンテーター)★キュートでキツェでクレイジーな世界はムービーフリーク必見!世紀末に開花したヒップなクリエイター、ヴィンセント・ギャロ。(クリス・ペプラー/TV・ラジオパーソナリティ)★クドい顔に、繊細な心根。ヴィンセント・ギャロは、ただ者じゃない。(石川三千花/イラストレーター)★クリスティーナのおっぱいにぼくたちはもうクラクラ!(ゴッホ今泉/イラストレーター)★あーゆうラストシーンで、ああヨカット!ワタシの隣の席の女の子は泣いてたよ。(森永ニッカ/イラストレーター)★ジェラシーとリスペクトを込めて、この映画を全面的に愛す。66年

生まれだし。(Ed.TSUWAKI/ファッション・イラストレーター、アート・ディレクター)★ヴィンセント・ギャロのセンスが好きです。だから全部OKです。(Moichi[桑原茂]/選曲家)★面白い!!おかしくてカッコよいギャロ・アート。どこを切っても完成度の高い作品!(関口修男/PLUG-IN GRAPHIC デザイナー)★ヴィンセントの様な人が、自分の理想な兄貴です。(大橋聖史/フォトグラファー)★二人は、ほんとにカワイイ!ビリーのかawaiiさを見抜いて、好きになったレイラはとてもかこいと思います。見終わって思っておこすほどに、二人が愛しくなる映画です。(野村恵子/写真家)★エロくて笑えて熱い色。視点サイコー、素直な女♥はかわいい。(BUNKO/フォトグラファー)★オトコにしておくのはもったいない。(CHIGALLIANO/ガールズオンリーイベント『GOLD FINGER』プロデューサー)★21世紀になって、20世紀の映画の中のベスト・カップルを振り返る時、僕なら迷わずビリー&レイラに1票入れるだろう。(川勝正幸/エディター)★何もかもが強烈に愛おしい!そして何よりも見ると何故だか、今が世紀末であることが本当にどうでも良くなってくるのが素晴らしい!(中原昌也/作家・ミュージシャン)★映画をはじめて見た人間が作ったような、誰も見たことのない瑞々しい映像体験(柳下毅一郎/特殊翻訳家)★どうゆーらぶゆー?いえーす・あい・どう。“バッファロー'66”を好きだなんて、オレっていいヤツじゃんと思う。あどけない顔、しどけない乳のC・リッチーも◎!(塩田時敏/映画評論家)★すみずみにまで、ギャロの気持ちがいっている。いい感じ。(伊藤弘/groovisions デザイナー)★この映画にあるすべてのものは、リッチという白く丸い球体のまわりを巡る塵芥に過ぎない。もはや彼女は存在論的な謎である。(ミルクマン斉藤/groovisions)★リッチのファッションこそ最高!ベビードールにシルバーのタップシューズ(ストラップ付き!)、そしてタイツの取り合わせはあたかもピアノ発表会のよう。大人なのか子供なのか、母なのか恋人なのか…。僕的には全部OK!(伊藤高/ブチグラパブリッシング)★ムサくて自分勝手に寂しがり屋で凶暴で情けなくて純情でロクデナシのビリーは、自分を見ているようだった。これだけ主人公に共感したのは『タクシー・ドライバー』以来だ。ラストはマジで心暖まるぜ!俺も彼女と一緒にボーリングやろうっと。(ジーク内山/俳優)

★普通、ハッピーエンドの映画はバカにする傾向のある歪んだ性格の私ですが、この映画のハッピーエンドは納得しました。これは私にとってはすごいこと。(カズコホーキ/フランクチキンズ兼アーティスト)★66回笑って66回泣きそうになりました。(中村大/ARCH)★どんな生い立ちや、つまらない過去をもととも、生き続けることの大事さを知る誠実な映画。未来に飛びこめ!!(松蔭浩之/ゴージャラス)★バッファロー'66は、99年版『ジョンとメリー』だ。(真鍋太郎/イラストレーター)★天使の優しさがホットチョコレートでできていることを知りました。何杯パンホーテンをのめば、天使になれるのでしょうか?。(藤原ようこ/文案家)★センチメンタルで自分勝手なプログレ。(須藤浩一/検索、言笑屋)★幻想のおもちゃ箱。ギャロの才能に嫉妬!(安藤紘平/TBSプロデューサー、映像作家)★大胆不敵で自己中心、それでいて最高にシャイで不器用、すべてが滑稽で、その後哀しい。少年の心を思い出させる最高の作品!テレビじゃな〜い。(山形淳二/フジテレビ映画部プロデューサー)★俺は、この映画が死ぬほど好きだ。はっきりそう言える映画にやっと出逢えたよ。ハッピーもサッドも天国も地獄も全部ある。ギャロは暗い眼をした天才、カッコイイ悪魔だよ。(後藤繁雄/編集者)★カッコいい。リッチも、ギャロも。ギャロの碧い瞳に映し出される世界は、私にとって共感せざるを得ないものだったし…絶対観るべき!(堀口麻由美/米国音楽)★ヴィンセント・ギャロの多才さはスゴイ!そのベクトルすべてが何気にかっこいい方に向いているんだもん。世紀末的“男前”だな、彼は。(芝崎信明/POPEYE副編集長)★最高のキスシーン!ビリーといっしょに私の心も癒されるかんじで、涙